

札幌のコンサルが教室

【北京今川勝照】企業コンサルタンのオフィスBee(札幌)が企画した「キャラ弁教室」が28日、北京市内の日本料理店で開かれた。札幌の食育インストラクター岩沢智千さんが講師となり、北京在住の中国人ら約30人が参加し、ネコ型オムライスをつくった。

Beeは元札幌市職員で北京駐在経験もある角田貴美社長が経営している。上海の旅行会社の依頼で今年夏、札幌市内で中国人旅行者向けにキャラ弁教室を数回開いたところ、好評だったため、中国国内での事業化の可能性を探ろうと今回の教室を開いた。

今後は提携企業を探して開催

キャラ弁 北京でも好評

完成したネコ型オムライスを手にする参加者(今川勝照撮影)



つながる
アジア

を重ねていく考え。この日は現地の食材を使ったが、ゆくゆくは可能な限り道産食材を取り入れるつもりで、角田さんは「楽しんで食べてもらい、道産食材

のPRにもつながりたい」と話している。

教室では、おにぎりに焼きのりや薄焼き卵を貼り付けるなどしてネコの顔や衣服を表現した。北京市の会社員任秘瑤さん(29)は「かわいくできた。今度自分でもつくってみたい」と満足そうだった。